

### 挨拶

～ 中部地方整備局 総括防災調整官 丹羽 俊一 ～

日頃より、中部地方整備局の防災に関する業務に対し、ご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

防災エキスパートの皆様には、水防演習や防災訓練への参加、重要水防個所の合同巡視、意見交換会など、様々な活動を通じて、貴重なご意見を頂き感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の拡大が終息せず、皆様と直接お話しさせていただく機会を持つことができず申し訳ありませんでした。また、整備局のみならず、他の防災機関においても防災関係の訓練を感染拡大防止に配慮して対応せざるを得ない状況が続いていますが、いざという時に備え、万全な対応を行えるよう準備をしていきたいと考えています。



丹羽俊一 総括防災調整官

さて、昨年も各地で大きな災害が発生しています。管内では、令和3年7月3日梅雨前線に伴う大雨により、静岡県熱海市伊豆山の逢初川で源頭部（標高390m）で発生した崩壊土砂が海岸までの約2kmを流下し、下流で甚大な被害が発生しました。発生当日からTEC-FORCE隊員を延べ323人・日、リエゾンを延べ202人・日派遣して、現地での情報収集、調整、被災状況調査、災害対策機械による応急対策など、早期復旧に向けた自治体支援を行うとともに、源頭部に監視カメラを設置し、映像を中部地方整備局公式YouTubeチャンネルにてライブ配信を行いました。

更には、発生した土石流災害からの復旧等を迅速に進めるため、8月13日(金)に富士砂防事務所に緊急的な砂防工事を専属で担当する組織として「熱海緊急砂防出張所」を設置し被災地の復旧・復興を加速化しています。

また、沼津市と清水町を結ぶ県道380号の黄瀬川大橋において、橋脚の一部が沈下したことから、損傷した橋脚、橋桁及び床版の撤去を行い、健全と判断した既存の構造物を活用した形で応急組立橋を設置し、早期に応急復旧を行いました。

災害の激甚化、頻発化が進む中、私たちの社会システムへの影響も多様になってきています。近い将来発生が想定されている南海トラフ巨大地震や計画規模を超えるような洪水等への対応にも備えていかなければなりません。

一方、中部管内では近年激甚な災害を受けていないが故に、災害対応の経験者も少なくなっています。迅速で的確な災害対応を行うためには、平時の取り組みが重要であり、防災エキスパートの皆様の豊富な知識や経験を踏まえたお力添えをいただき、中部地域づくり協会と整備局が連携して、地域の安全・安心に貢献できるよう精一杯取り組んで参りますので、引き続き、皆様のご協力をお願い申し上げます。

## 地区代表・世話役会議

令和4年度は、コロナ感染予防対策として三密を回避するため、資料を送付することにより情報提供させていただきます。

- 地区別会議の開催単位につきましては、少数での開催、ブロックでの開催など、臨機に対応をお願いします。
- 整備局の出張所など出先の要員が不足していること、出水時巡視の委託状況の変化等ありますが、防災エキスパートが現場に行くなど職員の代わりとしての支援ではなく、助言やサポートの支援が基本となるよう注意していきます。
- 国交省を退職した方が積極的に登録して頂くように、整備局・事務局ともに働きかけをします。



## ○河川重要水防箇所合同巡視に参加

出水期を前に、各河川における重要水防箇所の合同巡視が行われ、各地区の防災エキスパートが参加しました。

※ すべて敬称略

令和3年度

静岡県西部地区（浜松）防災エキスパート活動 報告

### 【浜松河川国道事務所 河川重要水防箇所合同巡視】

浜松河川国道事務所で重要水防箇所の確認及び水防活動を円滑に実施するために、流域自治体及び水防団（消防団）と合同で天竜川、菊川を合同巡視を実施した。この重要水防箇所合同巡視に中部防災エキスパートも参加した。

月 日	4月15日	4月16日	4月16日	4月21日	
時 間	10:00~12:00	10:00~12:00	14:00~16:00	10:00~12:00	
場 所	天竜川 磐田市	天竜川 浜松市天竜区	天竜川 浜松市南区・ 東区・浜北区	菊川 菊川市	
出席者	6名	6名	8名	4名	計24名

延計24名、実計13名

出席者	渥美 利治	内山 武彦	栗田 市松	志田 興一	新村 孝行
	末吉 次明	鷹野 弘行	高橋 正行	三木 榮一	村越 宗司
	山住 和恵	水野 益啓	藤永 稔		

### 状況写真



天竜川左岸（磐田市掛塚地区）



天竜川上流部（浜松市天竜区旧龍山村地区）



天竜川右岸（浜松市上島地区）



牛淵川（菊川）左岸（菊川市神尾地区）

令和3年度

静岡県東部地区（沼津）防災エキスパート活動 報告

【沼津河川国道事務所 河川重要水防箇所合同巡視】

沼津河川国道事務所で重要水防箇所の確認及び水防活動を円滑に実施するために、出水期前に狩野川流域の自治体及び水防団（消防団）、建設業協会、建設コンサルタンツ協会と合同で、狩野川の重要水防箇所を巡視を実施した。この重要水防箇所巡視に中部防災エキスパートも参加した。

月 日	5月25日	5月26日	
時 間	13:15~16:10	13:30~17:05	
場 所	伊豆市、伊豆の国市、函南町	沼津市、長泉町、清水町、三島市	
出席者	3名	5名	計8名

延計8名、実計7名

出席者	工藤 隆	佐野 純一	鈴木 守	茶山 満
	長尾 郁夫	落合 剛三	山住 和恵	

状況写真



副所長挨拶（5/26沼津市大手町地区）



狩野川上流部（5/25伊豆市修善寺町地区）



狩野川下流部（5/26長泉町本宿地区）



狩野川下流部（5/26清水町徳倉地区）

## ○防災エキスパート活動

**出水期前の重要水防箇所巡視や、水防訓練等への参加・協力をお願いします。**

出水期を前に、各地域・各河川等において水防訓練や重要水防箇所の合同巡視などが行われます。

防災エキスパートの皆様には、事務局支部や地区代表を通じてお知らせがありましたらぜひ参加をお願いいたします。

## ○各事務所との意見交換会 ～防災エキスパート～

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、各事務所で意見交換会が中止になりました！

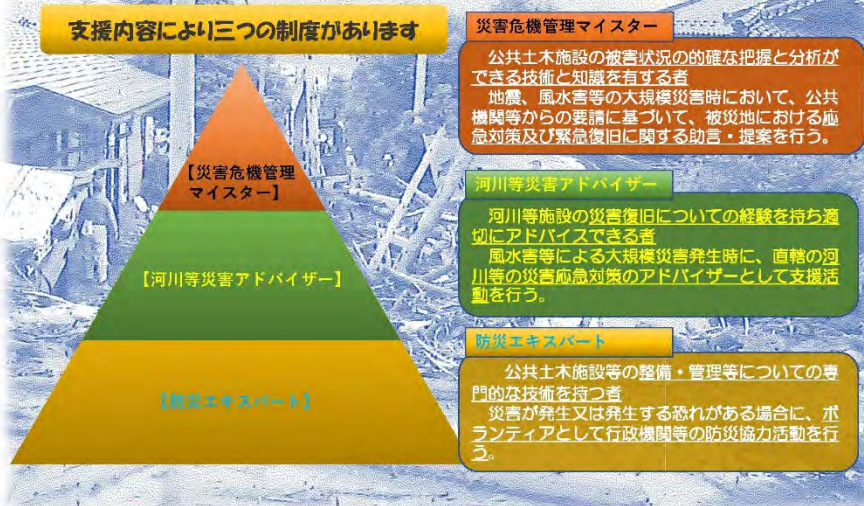
## 「中部地方防災エキスパート制度」とその他制度の区分

制度名	中部地方防災エキスパート制度	河川等災害アドバイザー制度	中部地方災害危機管理マスター制度
設立	平成8年3月	平成19年8月	平成21年1月 (令和3年3月廃止)
事務局	(一社)中部地域づくり協会(公益活動)	(一社)中部地域づくり協会(公益活動)	(一社)中部地域づくり協会(公益活動)
活動内容	自主的に公共土木施設や市街地の状況を目視確認し、担当事務所へ情報連絡	応急復旧工法に対する中部地方整備局職員への技術的助言	災害現場や公共機関の災害対策本部に出勤し、応急対策、緊急復旧に対する助言、提案
要件	公共土木施設の被害状況等について把握ができる者(国交省・県OB、民間)	河川等施設の災害復旧の専門的ノウハウを有する者(国交省OB)	協会理事長が委嘱(学識経験者、国交省OB)
活動形態	自主活動もしくは中部地方整備局からの要請	中部地方整備局からの要請	中部地方整備局、地方公共団体からの要請
活動のタイミング	災害初動時	応急復旧時	応急復旧時等
専門性等	公共土木施設等の整備、管理経験に基づく	河川等施設の災害復旧の経験に基づく	専門技術的、学術的な助言、提案

中部地域づくり協会HP/防災に関する事業 より

### (一社)中部地域づくり協会の災害支援制度 平成30年4月1日

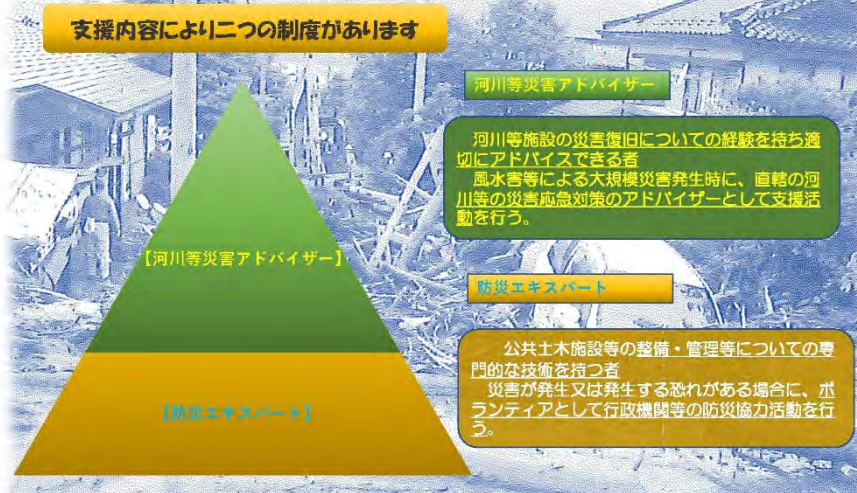
支援内容により三つの制度があります



中部地域づくり協会HP/防災に関する事業 より

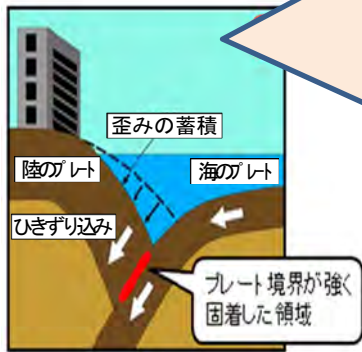
### (一社)中部地域づくり協会の災害支援制度 令和3年4月1日

支援内容により二つの制度があります

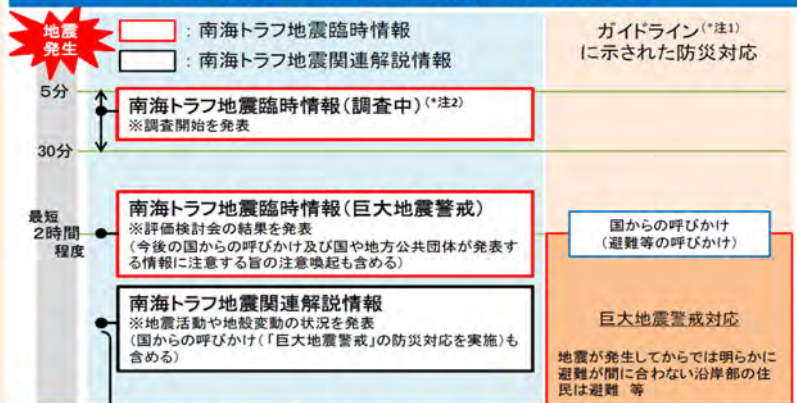


# 「南海トラフ地震に関連する情報」の名称について

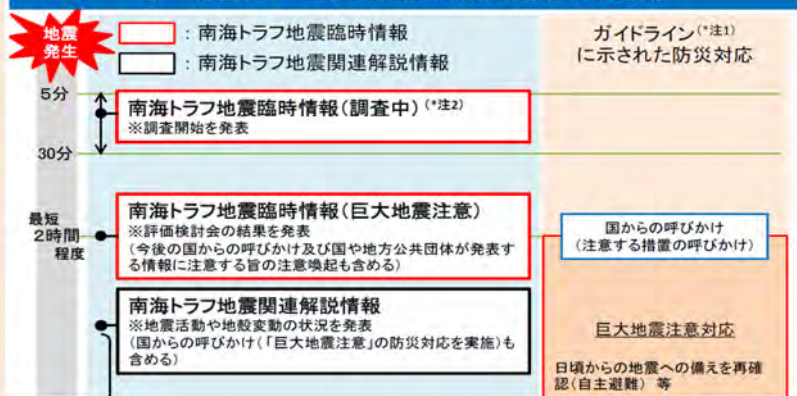
平成 31 年 3 月 29 日気象庁では、「防災対応検討ワーキンググループ」の報告書を踏まえ、南海トラフ沿いで発生した異常な現象の観測結果や分析結果を発表する情報の名称を決定しました。



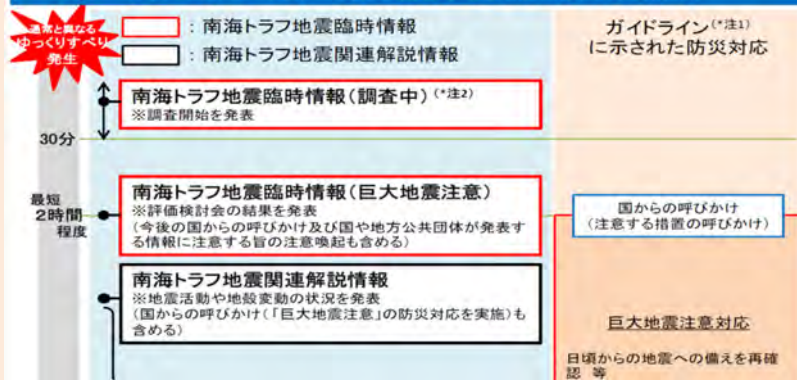
## 南海トラフ沿いの異常な現象への新たな防災対応を踏まえた情報発表の流れ【「半割れケース」に相当する現象と評価した場合】



## 南海トラフ沿いの異常な現象への新たな防災対応を踏まえた情報発表の流れ【「一部割れケース」に相当する現象と評価した場合】



## 南海トラフ沿いの異常な現象への新たな防災対応を踏まえた情報発表の流れ【「ゆっくりすべりケース」に相当する現象と評価した場合】



～ 防災エキスパート会員登録状況 ～  
令和 4 年 3 月 31 日現在 360 名

加入・退会、勤務先等変更のある方は、下記事務局までご連絡下さい。

発刊：中部地方防災エキスパート運営支援事務局

(一社) 中部地域づくり協会 企画技術部

名古屋市中区丸の内三丁目 5 番 1 0 号 名古屋丸の内ビル 8 階

TEL052-962-2227 FAX052-950-1178